



筑波大学剣道部3年生

濱田 裕佳(21)

3姉弟の長女。4歳からお父さんの影響で剣道を始めた。中学3年生の時には、全国大会で優勝したほどの実力の持ち主。笑顔が印象的で、良い雰囲気です。



ちびっこ体験のお知らせ

猿払村剣道少年団では、小学生、保育園児を対象に見学・体験を募集しています！ぜひ見学に来て、剣道の楽しさを知ってください！

日 毎週 火・木曜日 時 17:30 ~ 19:30

場 猿払村柔剣道場

きび かんきょう じぶん みが 厳しい環境で自分を磨く

大学での生活

自分自身をもっと成長させたい、レベルの高い環境で剣道がやりたいと強く思った

ことがきっかけで、筑波大学への進学を決めました。周りにはレベルの高い選手がたくさんいて、毎日刺激を受けます。ながら、「正しく、強く」の信念のもと、基本に忠実に日々稽古に励んでいます。

地元を離れ生活して、身の回りのことはすべて自分でやる必要があるのととても大変で、親の偉大さを強く感じています。最近、自炊をしていて、少しずつ料理のレベルが上がって、料理が楽しくなってきました。

剣道人生で苦しかったこと 中学生になると、剣道のレベルが上がって、稽古もハードになる中で、部活動と

少年団活動の両立に疲れ果て、初めて剣道を辞めたいと思いました。

そんな時に父から「中途半端な気持ちで剣道をするな」と喝を入れられたことをきっかけに、気持ちを直して再び前向きな気持ちで剣道に取り組むことができました。

今後の目標

日本一という高校時代達成できなかった目標を大学で必ず達成したいです。直近では9月に全日本女子剣道選手権大会が開催されるので、最高の結果を残せるよう稽古に励んでいきます。

また、将来は教員免許を取得し、高校で剣道を教えることを考えています。これから、勉強にも力を入れ、いつか猿払村に恩返しできるように頑張ります。

時事雑感

今回の広報猿払は、発行日が夏休み期間中ということもあり、小中学生をターゲットに作成しました。ぜひ読んでほしいページにはふりがなをふって、コーナーの右上にさるっぶのアイコンをつけています！特集は、今年の4月から始まり、1人1台タブレットを導入したGIGAスクール構想について。村内4つの小学校へ取材に行きましたが、タブレットを使うことが“特別”ではなく“普通”となっ

ていることにとってもびっくりしました。使いこなしている子が多かったです。近いうち、大人よりも子どものほうが機械に強い時代になりそうです。また、食の足跡ページでは、夏休み期間中にチャレンジしてほしい“いちごサンド”を紹介しています。猿払産イチゴを使って作った料理をSNSに投稿すれば、抽選で10名にイチゴやさるっぶグッズをプレゼントする企画も実施中です！締切は8月31日まで。ぜひ挑戦してみてください。〔S〕